



## 決算説明会

2011年5月16日

### 本日の説明者

- 代表取締役会長                      松下 雋
- 代表取締役社長                      加藤 太郎
- 取締役執行役員財務部長          坂部 進

## '11/3 連結業績

	前期('10/3)	3月公表 当期('11/3)	(億円) 前期比
売上高	2,355	2,380 2,394	+2%
営業利益	235	320 322	+37%
経常利益	249	320 327	+32%
当期純利益	178	240 245	+37%
為替レート	94	88	円/US\$
	130	116	円/ER

## '11/3 実績の要点

### 3期ぶり増収増益

セラ・エレ 堅調も 電力は期待に反し大幅な落ち込み

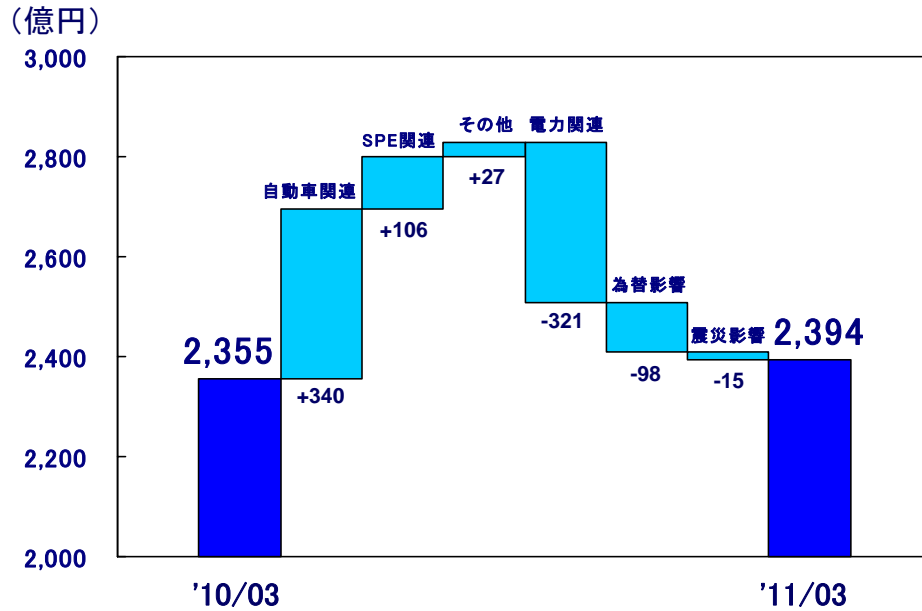
#### <プラス面>

- 自動車販売台数の回復と排ガス規制強化に伴う自動車関連製品物量の増加
- 半導体製造装置用セラミックスを中心にエレクトロニクス的大幅回復

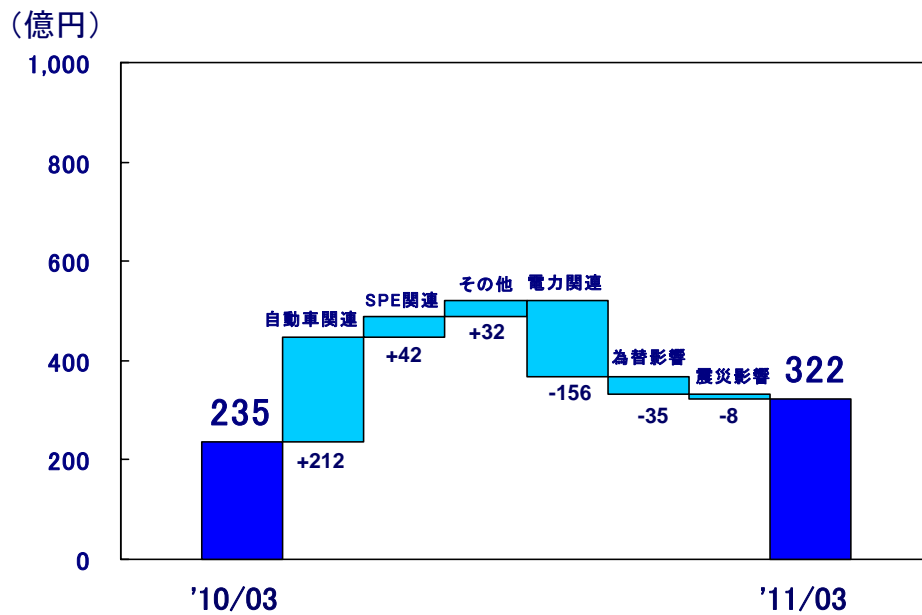
#### <マイナス面>

- がいし 中国市場の超高压送変電がいしの需要低迷
- NAS電池 財政不安等により国内外で需要が低迷
- 為替 円高（対ドル・対ユーロ）

## '11/3 売上高 増減要因



## '11/3 営業利益 増減要因



	当期('11/3)	来期('12/3)	(億円) 前期比
売上高	2,394	2,600	+9%
営業利益	322	300	△7%
経常利益	327	320	△2%
当期純利益	245	230	△6%
為替レート	88	80	円/US\$
	116	110	円/ER

### 前期比 増収減益

震災によるマイナス影響もあり、先行きは不透明

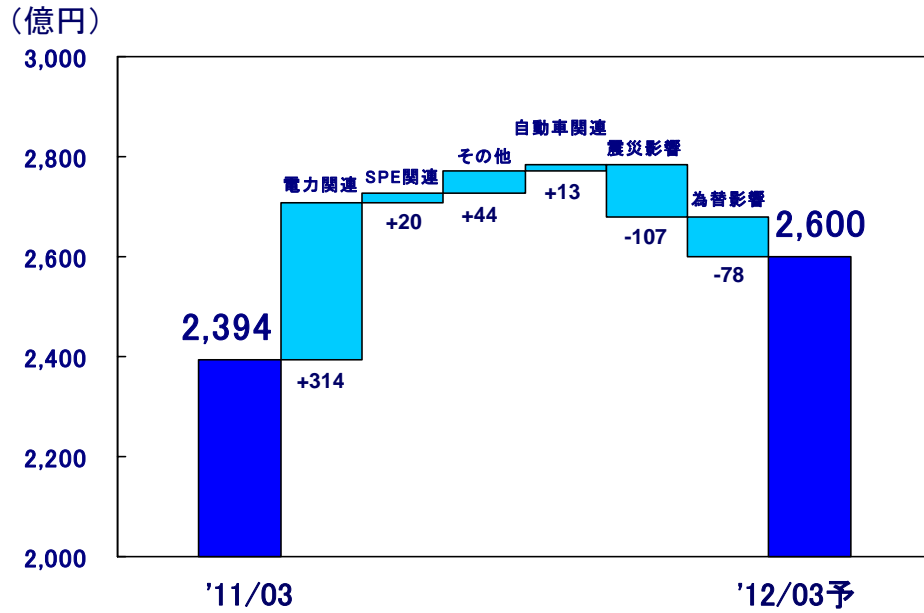
#### <プラス面>

- 乗用車・トラック販売の回復と排ガス規制の強化継続に伴う自動車関連製品の物量増
- 電力品質の見直し等からN A S電池の需要拡大

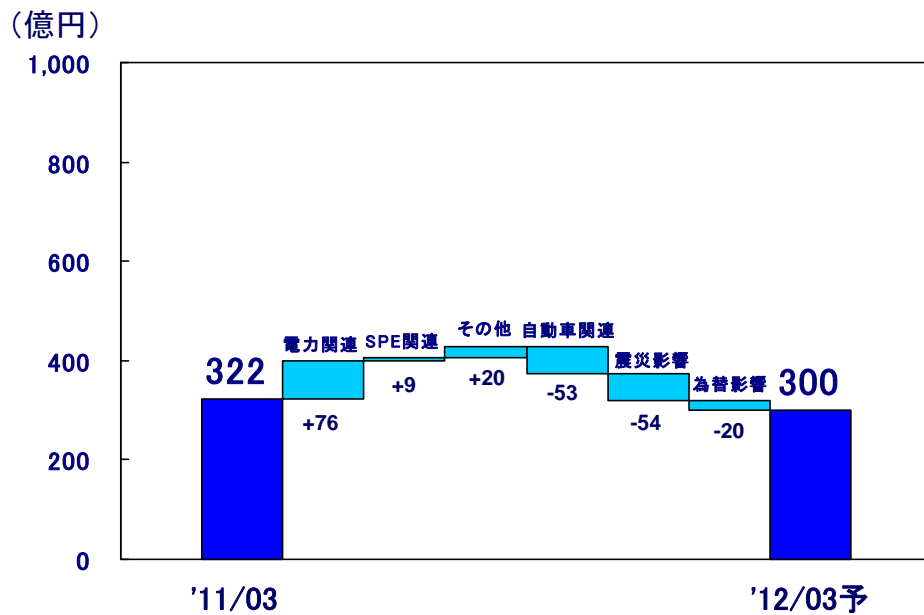
#### <マイナス面>

- がいし 中国需要低迷継続に加え、国内需要も震災影響により減少
- セラ 新拠点立上げ費用（メキシコ・石川工場）
- 震災影響 売上高△107億円、営業利益△54億円

## '12/3 売上高 増減要因

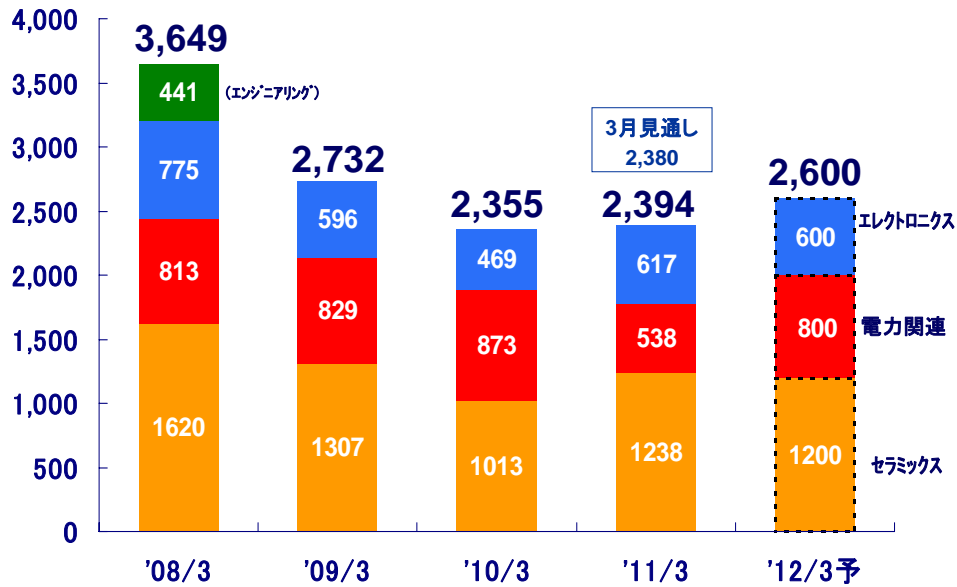


## '12/3 営業利益 増減要因



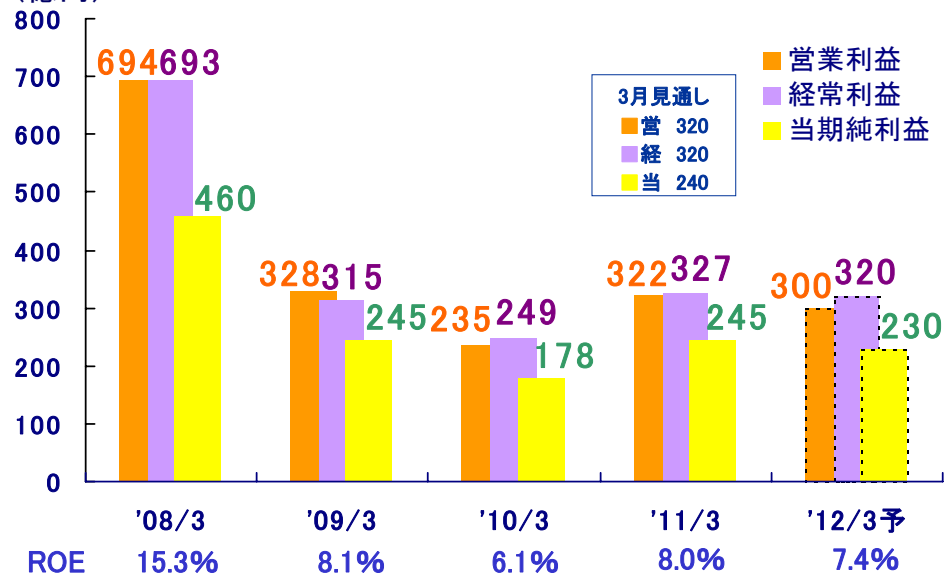
## 連結 売上高

(億円) セグメント間売上消去後



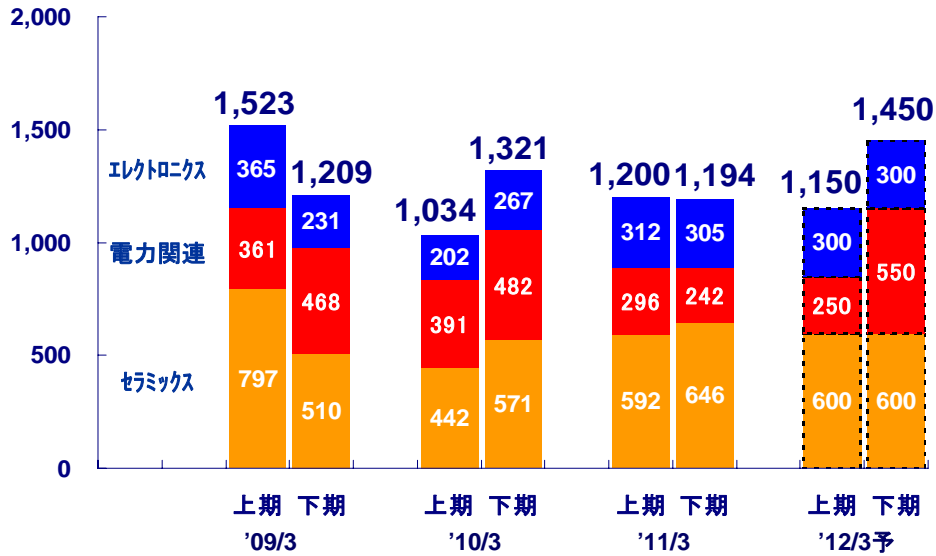
## 連結 利益

(億円)



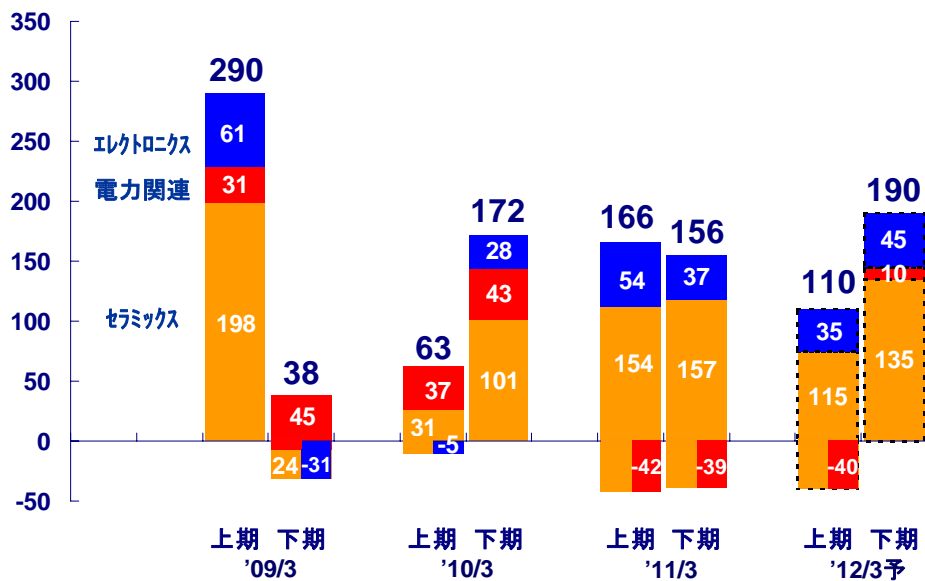
## 上・下別 売上高

(億円) セグメント間売上消去後

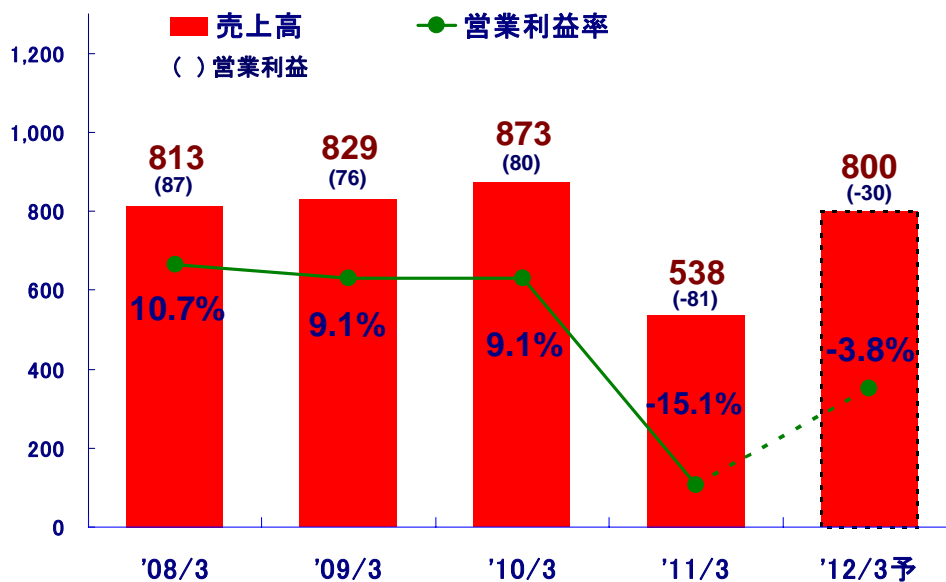


## 上・下別 営業利益

(億円)



(億円) セグメント間売上消去後



■ 事業環境

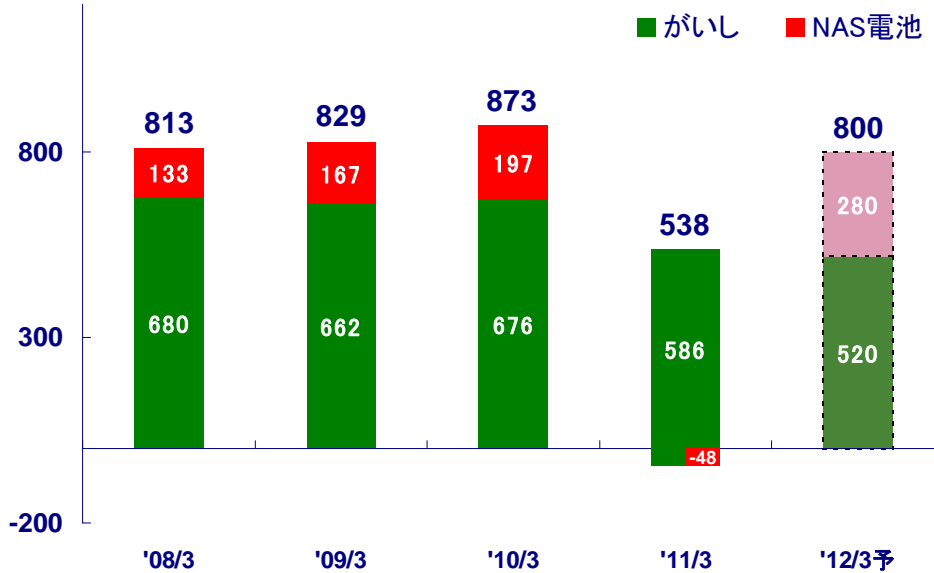
- ◆ **がいし**: 国内 震災の影響により需要減少  
海外 中国市場向け出荷の谷間、競合激化
- ◆ **NAS電池**: 国内 電力不足、自然エネルギー再評価から需要拡大  
海外 各国財政不安、円高の継続

■ 課題

- ◆ **がいし**: 電力設備復旧のためのガイシ、関連機材供給  
中国市場への高機能品投入による差別化
- ◆ **NAS電池**: 国内需要への着実な対応  
高出力電池開発と新規市場開拓

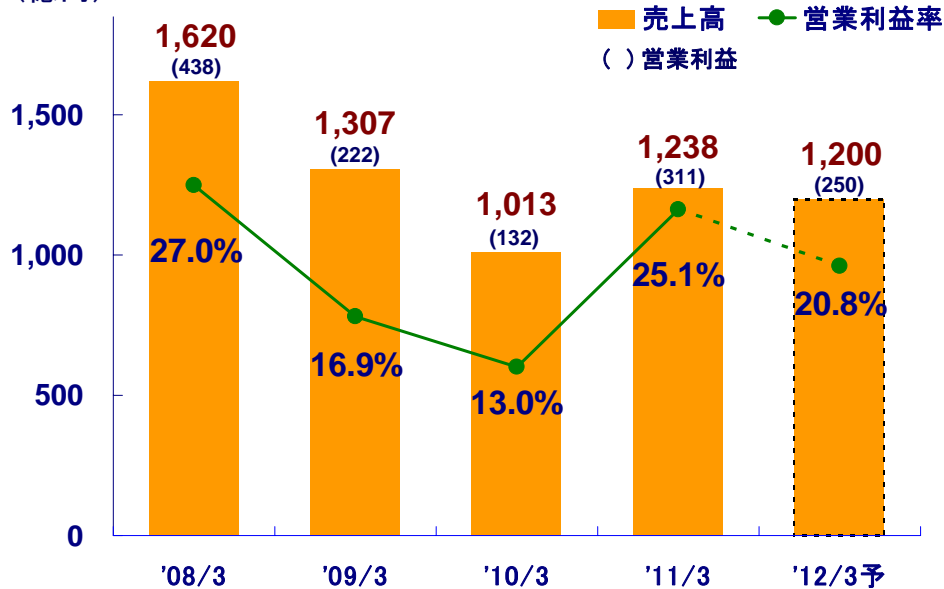


(億円) セグメント間売上消去後



		NAS	リチウムイオン	鉛 長寿命型	ニッケル水素
システム規模 (納入実績あるもの)		大 200MWh	中 32MWh	中 10MWh	小 0.1MWh
コンパクト性		小(コンパクト) 10㎡/MWh	中 15㎡/MWh	大 20㎡/MWh	大 50㎡/MWh
期待寿命		長 15年	中 10年	長 17年	短 7年
システム 価格	電気量当り (kWh当り)	低 5万円/kWh	高 50万円/kWh	中 12万円/kWh	高 15万円/kWh
	出力当り (kW当り)	中 30万円/kW	低 25万円/kW	高 35万円/kW	中 30万円/kW
主な用途例		負荷平準 非常電源 新エネ出力調整(大容量)	家庭用太陽光出力調整 電力需給調整	非常電源 新エネ出力調整(中容量)	ピークカット 新エネ出力調整 (小容量)

(億円) セグメント間売上消去後



■ 事業環境

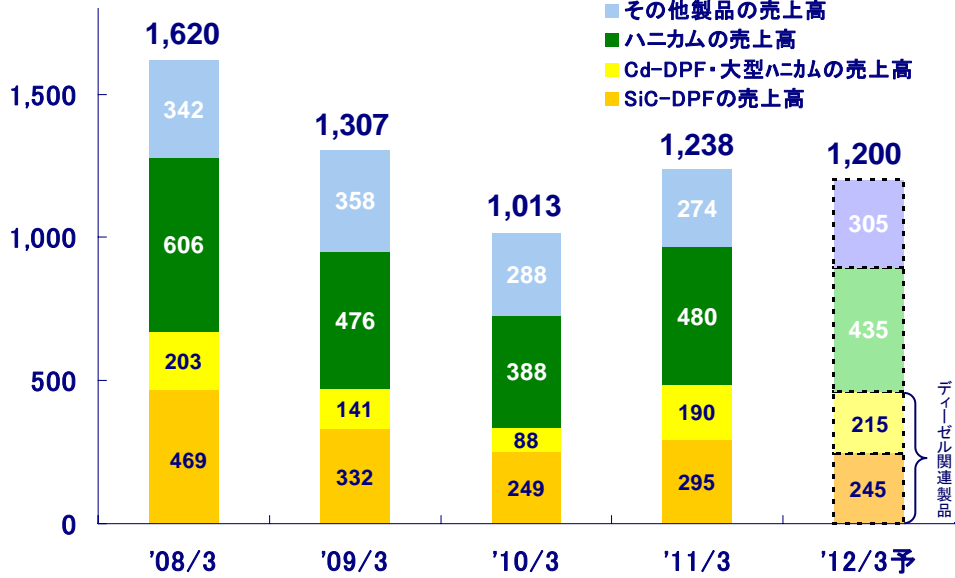
- ◆ 自動車関連: 震災によるサプライチェーン 停滞の影響 不透明  
新興国の乗用車販売拡大、米国も堅調に推移  
欧米市場のトラック販売回復  
建機等オフロード車の排ガス規制開始  
日米欧、新興国での排ガス規制の強化 継続
- ◆ 産業プロセス: 車載用リチウムイオン(Li)電池関連拡大  
震災による国内設備投資への影響 不透明

■ 課題

- ◆ 自動車関連: 拡大する新興国需要、オフロード向けの取込み  
グローバル生産体制の確立と構造革新の展開  
BCP対応 石川工場の生産立ち上げ  
NOxセンサの収益向上と需要拡大への対応
- ◆ 産業プロセス: Li電池 太陽電池等成長分野の取り込み

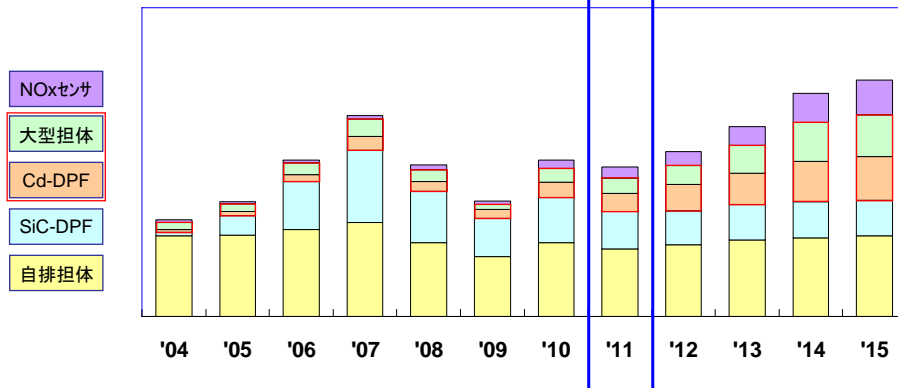
## セラミックス事業の売上

(億円) セグメント間売上消去後

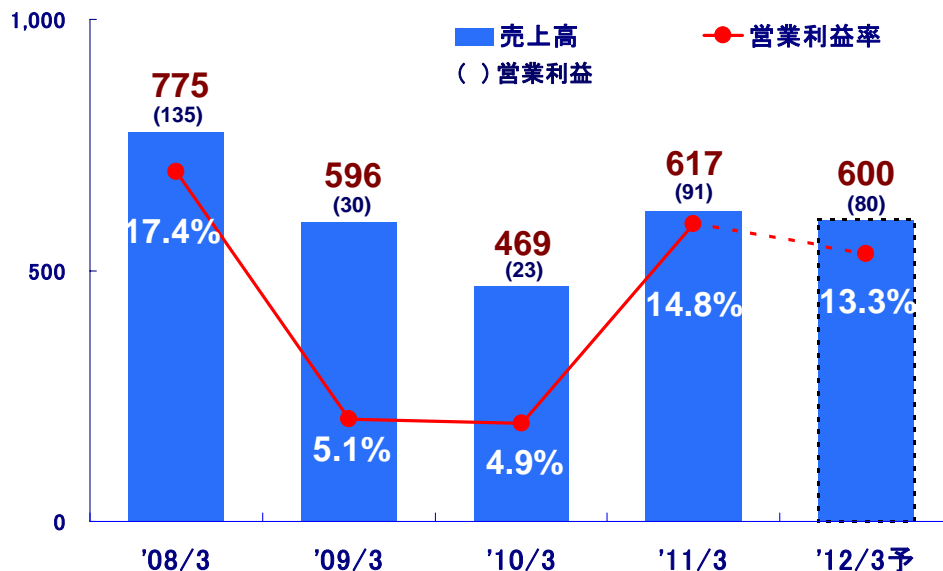


## 自動車関連製品の長期売上予想

	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
乗用車	日本	新短期		新長期					ポスト新長期			
	米国	Tier2/Bin#8							Tier2/Bin#5			
	欧州	EuroIII		EuroIV					EuroV		EuroVI	
トラック	日本	新短期		新長期					ポスト新長期			
	米国	US'04				US'07			US'10			
	欧州	EuroIII		EuroIV		EuroV			EuroVI			
Off-Road車 建機・農耕機他	日本								Tier4a並		Tier4b並	
	米国								Tier4a		Tier4b	
	欧州								Step-3		Step-4	



(億円) セグメント間売上消去後



■ 事業環境

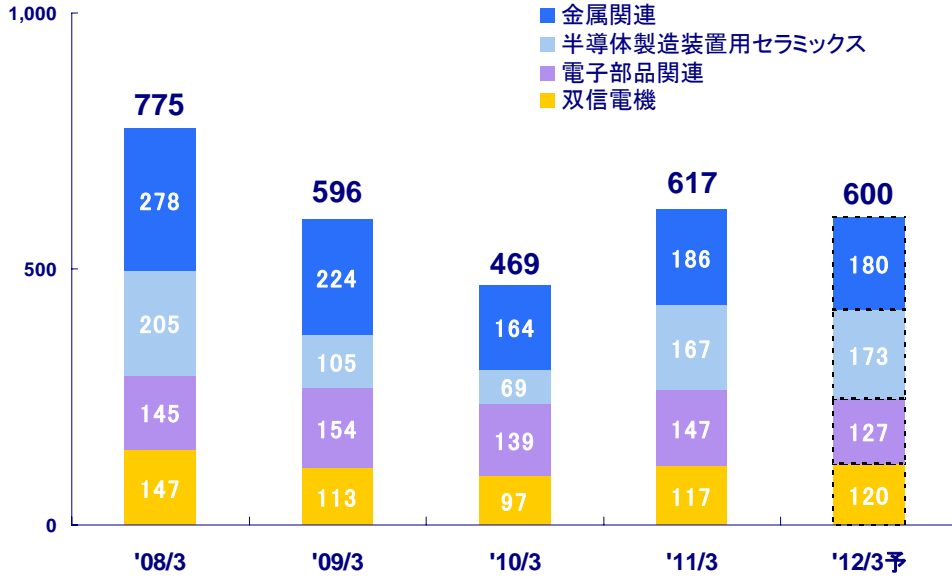
- ◆ 震災による停滞の影響 不透明
- ◆ ベリリウム銅展伸材: 新興国で需要増も国内は自動車向けを中心に減少
- ◆ 半導体製造装置用セラミックス:  
半導体メーカーの設備投資は足元堅調なるも不透明感有り
- ◆ インクジェットプリンター用機能部品:  
インクジェットプリンター市場の成長率鈍化
- ◆ 双信電機:  
産業機器、情報通信機器ともに堅調

■ 課題

- ◆ 既存製品の高機能化 コストダウンによる事業強化
- ◆ 新製品投入による成長基盤の確立  
( 静電チャック、次世代圧電部品、照明用部品 etc.)

## エレクトロニクス事業の売上

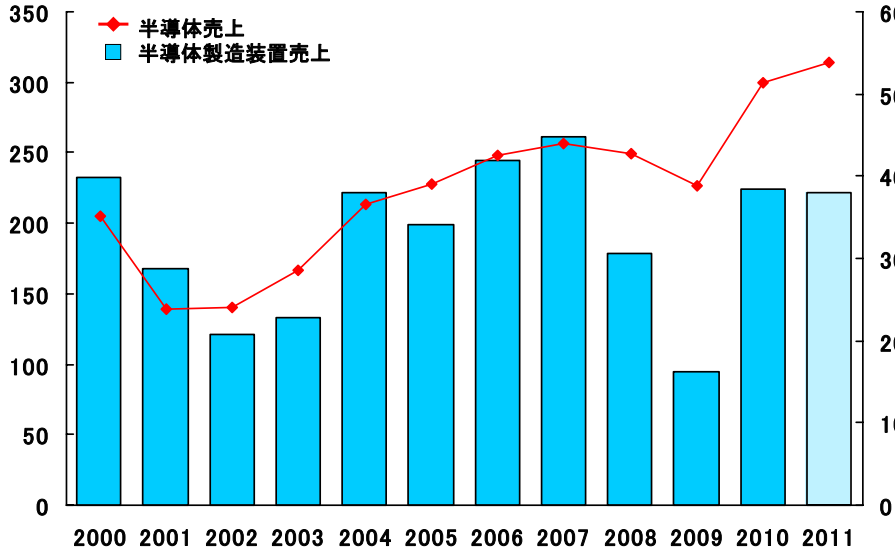
(億円) セグメント間売上消去後



## 半導体市場と製造装置市場

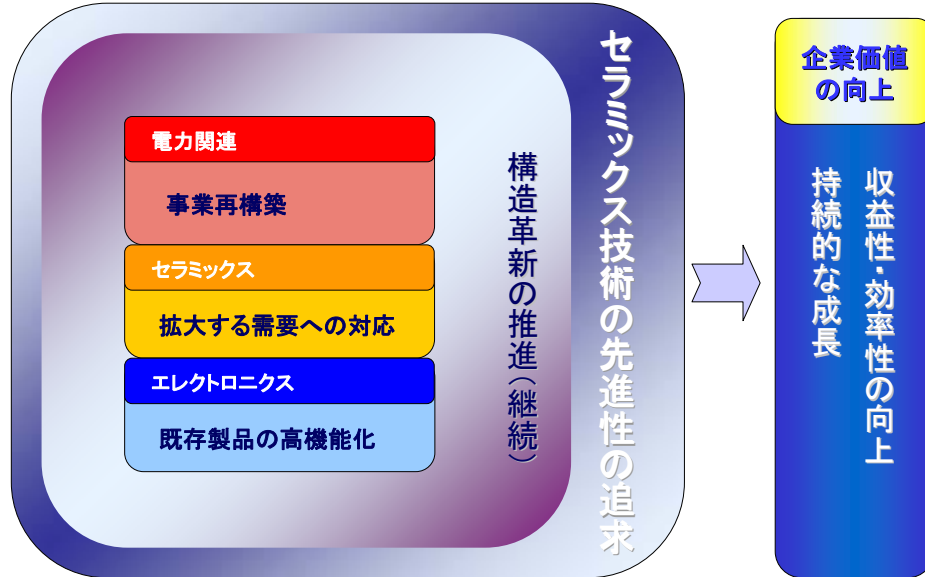
半導体(\$B)

製造装置(\$B)



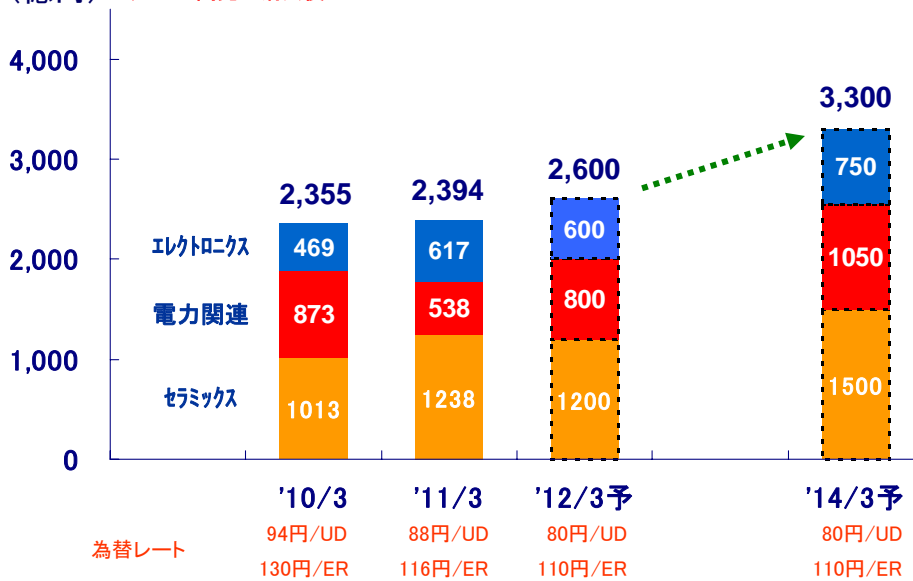
出典：半導体：世界半導体市場統計 2010/12  
製造装置：ガートナー 2010/12

## 対処すべき課題



## 中期 売上イメージ

(億円) セグメント間売上消去後



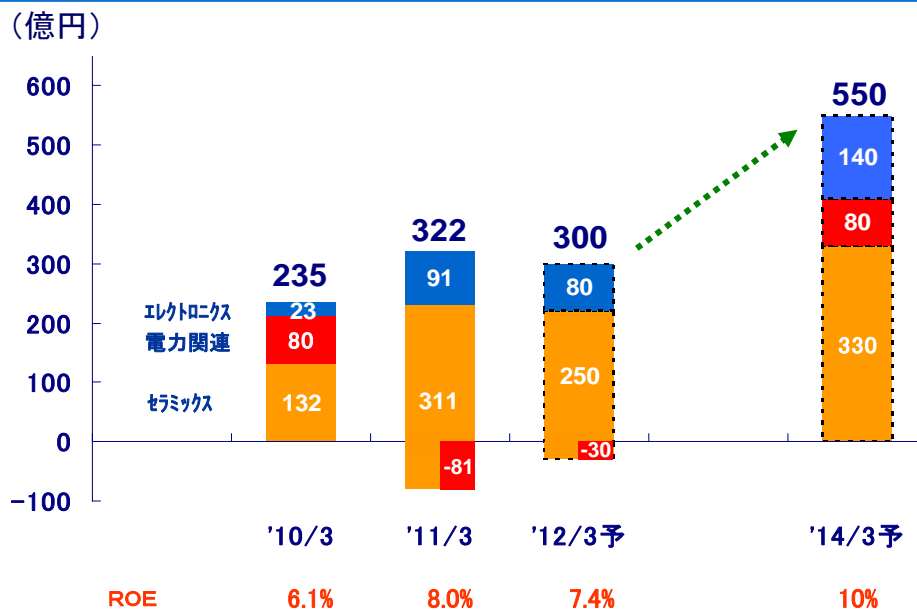
## ものづくり構造革新（09年スタート）

コンセプト： 従来の仕事のやり方、仕組み、慣習、慣行をゼロベースで見直す

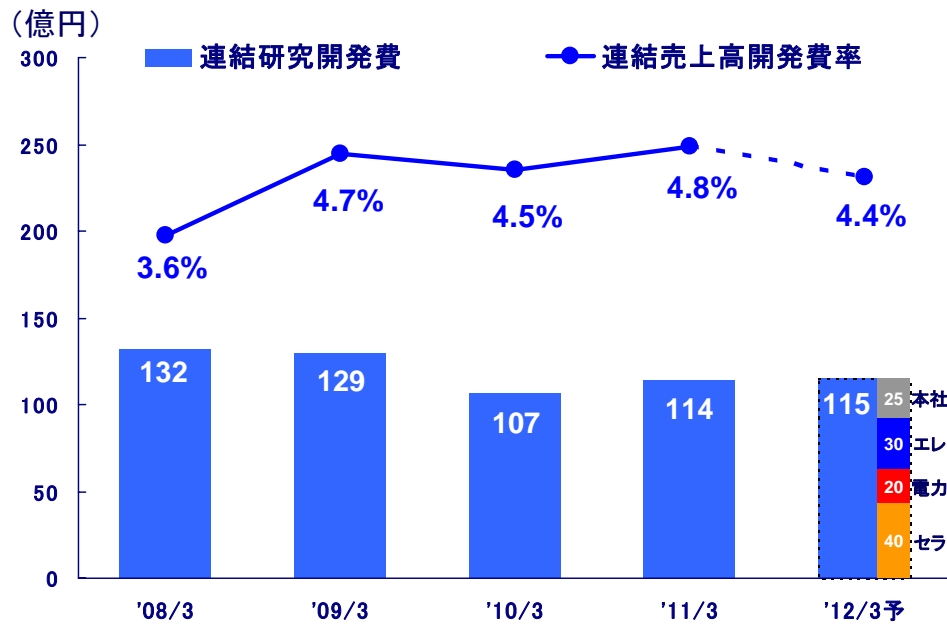
- 設計・製造の限界に挑戦
- 既存プロセスを否定し、革新に挑戦
- 海外工場・営業・管理を含む活動展開



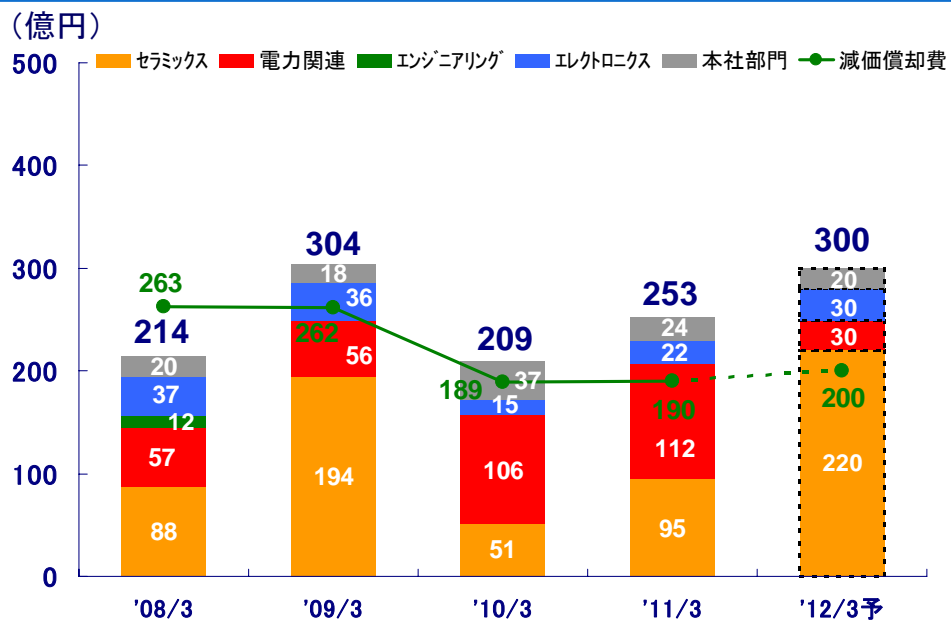
収益性・効率性の向上



## 研究開発費



## 設備投資





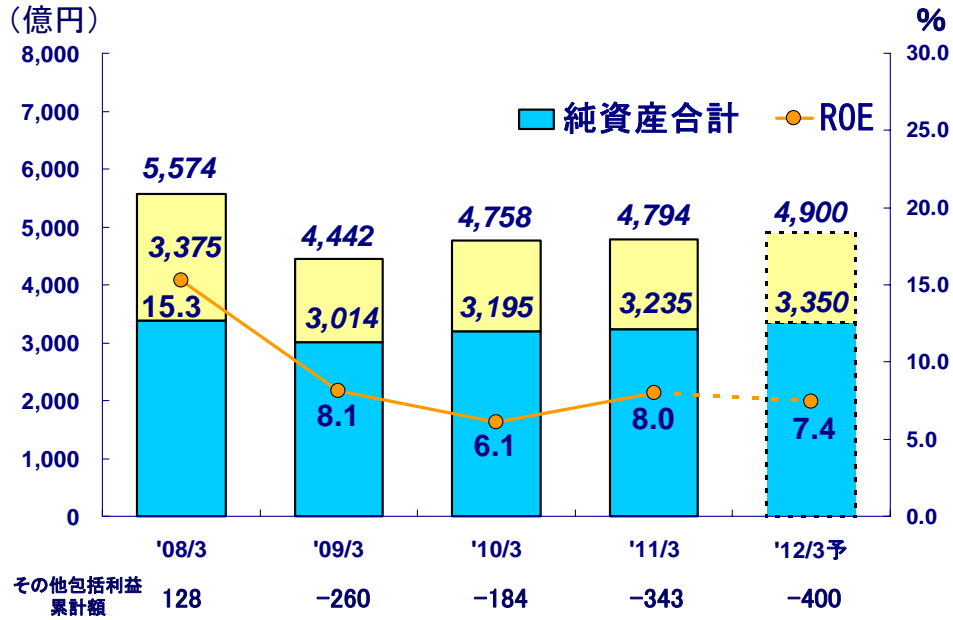
## 連結キャッシュ・フロー

	'10/3	'11/3	'12/3予
税前利益	230	305	325
法人税等の支払額	-5	-90	-70
減価償却費	189	190	200
売掛債権の増減	-155	76	-263
棚卸資産の増減	155	-207	37
その他	30	93	111
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>444</b>	<b>367</b>	<b>340</b>
有形・無形固定資産取得	-205	-245	-300
有価証券の取得・売却	-143	-173	-7
定期預金の増減	-364	263	-
その他	-	-24	-3
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>-712</b>	<b>-179</b>	<b>-310</b>

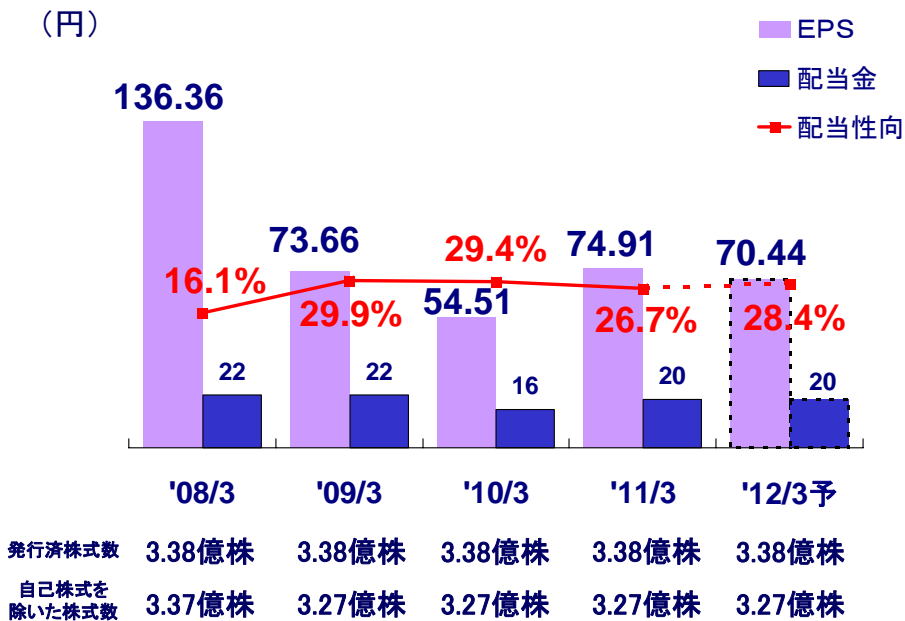
## 連結キャッシュ・フロー

	'10/3	'11/3	'12/3予
自己株式の取得	-	-	-
配当金の支払	-62	-59	-65
借入金の増減	-116	15	-54
社債発行	200	-	-
その他	-5	-7	-1
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>17</b>	<b>-51</b>	<b>-120</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	-40	-
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>-231</b>	<b>96</b>	<b>-90</b>
<b>現金及び現金同等物期末残高</b>	<b>534</b>	<b>630</b>	<b>540</b>

## 総資産 / ROE



## EPS / 配当



この配布資料に記載されている業績目標及び  
数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手  
可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済  
環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の  
影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載  
されている予想とは大きく異なる場合がありますこと  
をご承知置きください。



〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7212 Fax. (052) 872-7160

E-mail: [ir-office@ngk.co.jp](mailto:ir-office@ngk.co.jp)

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>